

行田イエローファイターズが 県大会優勝

8月11日、第33回県学童軟式野球大会兼第5回ガスワンカップ埼玉選手権で見事優勝を果たした行田イエローファイターズが報告のため、市役所を訪問しました。

チーム名のとおり鮮やかな黄色のユニフォーム姿で来庁した19人の選手らは、県代表としての誇りを胸に、県大会で発揮した実力をそのまま関東大会でも出したいと意気込みを語っていました。



万が一の水害に備えて

8月7日、須加小学校裏利根川堤防で水防演習が行われました。この訓練は、近年頻繁に発生する集中豪雨や台風などの水害が万が一発生したときに、市民の皆さんを災害から守るために行うものです。

この実践さながらの訓練には、90人もの水防団員が参加。土のう作りや月の輪など8種類の工法訓練に積極的かつ真剣な姿勢で取り組んでいました。

手ほどきを受けて なりきり消防士

8月4日、消防署本署で一日消防士が開催され、66人の小学生が参加しました。

午前中、庁舎の見学を終えた小学生は、消防士に手ほどきを受けながら、ロープを渡る救助訓練、防火服を着る防火衣等着装訓練、筒先を持って水を出す放水訓練を消防士になりきって行っていました。午後には、暴風雨や地震などが実体験できる鴻巣市の防災学習センターで災害について学ぶなど、消防と防災の知識や技術を一日かけて学びました。



語られる戦争体験と平和の尊さ

8月9日から19日まで、平和を考える11日間として、平和を願う原爆写真展がコミュニティセンターみずしろで開催されたほか、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に語りついでもらおうと「平和への語り部」が10日に同センターで行われました。

この日、自身の戦争体験を語ったのは門井町在住の関口みち子さん。関口さんは、当時母親が実際にはいていたもんぺなどを見せるなどしながら、空襲に遭ったときの状況やそのときの恐怖感を話し、平和の大切さなどを来場者らに伝えていました。

